

科目名	言葉（卒業必修：保育士必修：幼稚園教諭二種必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022年度 後期	単位数	1		
担当教員	佐藤 佐敏、五十嵐 啓太				
内容および計画	<p>『幼稚園教育要領』に基づいて、胎児から学童期前期に至るまでに子どもが言語を獲得していく過程について、発達心理学、大脳生理学等の知見を援用して究明していく。また、言語の獲得を促進させるための支援の方法を確認していく。第10回までは、すべての授業で学習課題を提示し、その課題を解決していくためにグループディスカッションを取り入れる。主体的、対話的な活動のもとで実感をともなった深い学びとなることを目指す。第11回以降は、模擬保育を取り入れて、実践的な演習を行い、言葉の獲得を支援する方法の身体化を図る。また、児童文化財の意義と活用方法（情報機器を含む）について体験的に学び、発達に即した保育を構想・実践する力を養う。</p> <p>授業の到達目標は以下の通りである。</p> <p>1. 発達心理学、大脳生理学、神経生理学等の知見に基づいて、幼児期の言語発達にかかわる基礎的知識を習得している。</p> <p>2. 幼稚園等において、言語の獲得に関する保育活動の在り方や実践に対して関心を持ち、言語発達の支援の方法を身に付けている。</p> <p>評価規準は次の通りである。</p> <p>幼稚園教員免許状の取得において「望ましい水準」に達していると判断された場合に「C」以上の評価を与える。</p> <p>A：すべての項目において高い水準に達している。</p> <p>B：すべての項目において望ましい水準に達しており、一部の項目において高い水準に達している。</p> <p>C：すべての項目において望ましい水準に達している。</p> <p>D：望ましい水準に達していない。</p>				
1	第1回 ガイダンス 幼稚園教育要領（担当：佐藤）				
2	第2回 胎教と言葉の発達（担当：佐藤）				
3	第3回 早期教育と言葉の発達（担当：佐藤）				
4	第4回 身体的発達の視点からみる言葉の発達（担当：佐藤）				
5	第5回 認知的発達の視点からみる言葉の発達（担当：佐藤）				
6	第6回 言葉の発達と母親の対応（担当：佐藤）				
7	第7回 言語障害・コミュニケーション障害（担当：佐藤）				
8	第8回 学童期（小学校低学年）における言葉の発達と幼小連携（担当：佐藤）				
9	第9回 「ことば」と「保育」に関する指導法（担当：佐藤）				
10	第10回 指導案の作成（担当：佐藤）				
11	第11回 模擬保育 言葉の発達を促す活動1 ことば遊び（担当：佐藤）				
12	第12回 模擬保育 言葉の発達を促す活動2 カードゲーム（担当：佐藤）				
13	第13回 保育の場における児童文化財等の意義や役割、活用法（情報機器を含む）（担当：五十嵐）				
14	第14回 児童文化財教材（絵本）の準備（担当：五十嵐）				
15	第15回 模擬保育 言葉の発達を促す活動3 絵本の読み聞かせ（担当：五十嵐）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	平成29年告示『幼稚園教育要領』	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	2017
	平成29年告示『保育所保育指針』	厚生労働省	フレーベル	9784577814239	2017
その他、適宜関係資料を配付する。					
参考書	授業の中で適宜紹介する。				
成績評価					

評価方法		割合(%)
毎回のリアクションペーパー		30
指導案		20
模擬保育		30
期末レポート		20
学習到達目標	上記「内容および計画」に記載	
先修条件		
実務経験		
その他		